

第36回 北信越高等学校ソフトテニス選抜インドア大会 大会実施要項

主催 北信越ソフトテニス連盟
共催 北信越高等学校体育連盟
主管 北信越高体連ソフトテニス専門部 長野県高体連ソフトテニス専門部

1. 期 日 令和6年2月13日(火)

2. 日 程 令和6年2月13日(火) 8:30 受付完了
8:50 開会式 [個人戦出場ペア]
9:00 競技開始(個人戦)
競技終了後 表彰式、閉会式(予定)

3. 会 場 競技会場: やまびこドーム(砂入り人工芝)
長野県松本市大字空港東9036-4 TEL 0263-57-2211
開会式会場: 同 上

4. 競技種目 男女個人戦

5. 競技方法 個人戦 トーナメント戦(7ゲームマッチ)とする

6. 競技規則 (公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブックに準ずる

7. 参加資格
- ① 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。または、「参加資格の特例」及び「大会参加資格の別途に定める規定」により出場を認められた生徒であること。
 - ② 選手は、北信越各県高体連加盟校で、(公財)日本ソフトテニス連盟支部加盟校に在学し、当該種目の大会実施要項により大会参加資格を得た者。
 - ③ 年齢は、平成17年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ④ 転校後6ヶ月未満(大会前日現在)者の参加は認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - ⑤ 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長および各県高体連専門部部長の承認を必要とする。
 - ⑥ 参加資格の特例
 - (ア) 上記①②に定める生徒以外で、要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - (イ) 上記③について、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回までとする。
 - (ウ) 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の[大会参加資格の別途に定める規定]に準ずる。

8. 参加制限 個人戦 男女とも各県8ペア (当初開催予定県のみ12ペア)
9. 参加料 個人戦1ペアにつき 5,000円 (納入済み)
10. 表彰 ベスト4のペアを表彰する。なお、準決勝敗退ペアによる3位決定戦は行わない。
ベスト4のペアが確定しなかった場合は、順位は付けないこととする。
11. 参加申込 (参加申し込み済)
12. 宿泊・宿舎 別紙宿泊要項参照
13. その他
- ① 使用球は、アカエムボール、ケンコーボール、ダンロップボールの選択制とする。
 - ② 出場選手は日本連盟規定のゼッケンを背中につける。必ず四隅を留めること。
 - ③ ユニフォーム・用具等は(公財)日本ソフトテニス連盟が公認したものとする。なお、会場内の寒さに応じて、大会本部の指示でゼッケン付きベスト、トレーナーの着用を認める時がある。
 - ④ 選手変更は、病気その他の不慮の事故によって参加できなくなった場合に限り認められる。ただし、選手を変更する場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、各県専門委員長の承認を経て、競技委員長に届け出て承認を得る。
 - ⑤ 組合せは、開催県の責任抽選とする。
 - ⑥ 審判は、初戦は長野県審判員が行うが、以降敗者審判とする。ただし、準々決勝以降は長野県審判員を充てる。
 - ⑦ 参加生徒は、当該校引率責任者によって引率され、引率責任者は生徒の全ての行動に責任を負うものとする。
 - ⑧ 選手到着票は8:30までに受付へ提出すること。
 - ⑨ 競技中の疾病および傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
 - ⑩ベンチ入り指導者について
 - (a)個人戦においてベンチ入り出来る指導者は、校長が認める者とし、4名以内で出場組数を超えないこと。
 - (b)指導者が外部指導者の場合はスポーツ安全保険(傷害・賠償保険等)に必ず加入することを条件とする。
 - (c)ベンチ入り指導者申込書に必要事項を記入し、各県専門部委員長の承認を得ること。承認を得られない場合は、ベンチ入りを認めない。